





# 修 理 仕 様 書

## 1. 件 名 表中層トロール網修理業務

## 2. 業務目的

水産資源研究所水産資源研究センターでは、資源評価調査の一環として、春～夏季の黒潮親潮移行域において、さば類・いわし類等の浮魚類の幼稚魚ならびにスルメイカの漁獲加入前における分布量を把握している。

表中層トロール網JP-1型網について、今年度の曳網調査実施後の点検で、金具類やロープ類などの経年劣化による消耗が激しい箇所を確認した。この状態を放置することは、漁具の大破や曳網時のバランスを失うことにつながり、漁具の採集効率や曳網作業の支障になるため、消耗部位の交換・補修を行うこととする。

## 3. 修理する品名及び規格 JP-1型表中層トロール網（ニチモウ（株）製）

## 4. 数 量 1式

## 5. 業務場所 請負業者指定場所

## 6. 業務内容

以下に示したJP-1型表中層トロール網の消耗部位について交換・補修作業を行うこと。なお、下記記載の交換・補修に必要な消耗品はすべて請負業者が提供すること。また、下記以外に交換・補修が必要な場合および破損箇所を発見した場合は、担当職員と協議の上、修理の可否を問うこと。

- (1) カイトブライドルワイヤー新規交換（左右とも。両端の圧着箇所には古網を積巻）
- (2) カイトブライドルワイヤー両端のカップリング新規交換（左右の両端、計16個）
- (3) カイトブライドルワイヤーに調整用のチェーン取り付け（元のカイトブライドルワイヤーの長さとは完全に一致させること。また元のカイトブライドルワイヤーは返却のこと。）
- (4) カイト周辺ワイヤー新規交換（計18本。ワイヤーは鉄製で亜鉛メッキとし、ロープを巻くなどして擦れを防止すること）
- (5) カイトと網地の結合箇所をすべて再結合、およびカイト付近の擦れ箇所の補強
- (6) 潮切ロープ新規交換（別紙図面の赤線箇所。左右とも。図面では20φだが24φとすること。）
- (7) 別紙図面の赤線で示した箇所のレーシングライン新規交換（左右とも。24φとすること。）
- (8) その他、全体について網地の破損及びロープの破断の有無について点検し、発見した場合は修繕すること。

修理に使用する消耗品は以下の通り。

- ・カイトブライドルワイヤー IWRC 6×36 14mm 7.0m×2本
- ・カイトワイヤー 亜鉛メッキ 6×36 14mm 0.9m×12本、1.1m×1本、1.2m×1本、4.5m×2本、4.8m×2本
- ・接続カップリング CP-13×16個
- ・カイト周辺ロープ タフラインロープ 10φ×50m

- ・調整チェーン SUSチェーン13φ 1.0m×2本
- ・潮切ロープ タフラインクロスロープ24φ 17.8m×4本
- ・レーシングライン タフラインクロス24φ 17.2m×6本
- ・仕立修理用糸（ポリテックストワイン、ナイロン組紐他） 1式

(9) その他

交換・補修終了後、網を包んだときに、上下左右および方向の札を付けて、網をウインチに巻き込む際に上下左右が明確になるようにすること。

本修理の施行により発生した廃棄物については、関係法令に基づき、請負業者の責により適切な処理をすること。

(10) 運送経費

修理のために自社工場等への搬出入を伴う場合は請負業者の責により適切に運搬するものとし、搬出入にかかる費用は、請負業者が負担するものとする。

7. 納入場所および検収場所

神奈川県横浜市金沢区幸浦1-7-4  
水産資源研究所船舶陸上施設（船舶倉庫）

8. 業務履行期限

令和4年3月24日

9. その他

詳細については担当職員の指示に従い、消耗部位の交換・補修作業を行うものとする。

JP-1 Trawl Net Caught For Juvenile Pelagic Fish

H-R : タフラインクロス24φ  
 G-R : タフラインクロス24φ  
 L-L : タフラインクロス24φ  
 コッド L.L : タフラインクロス24φ

